

## 「震災遺構」に関する市の方針

### ■旧門脇小学校校舎

#### (1) 保存の意義

- ①津波被害の痕跡に加え、東北地方の多くの被災地で発生した津波火災の痕跡を唯一残した施設
- ②迫りくる火災の中で校内の避難者が日和山へ避難することができた経験を有した施設
- ③（仮称）石巻南浜津波復興祈念公園や日和山と連携した「伝承空間をつなぐ」重要な施設



<2011年（平成23年）3月31日撮影>

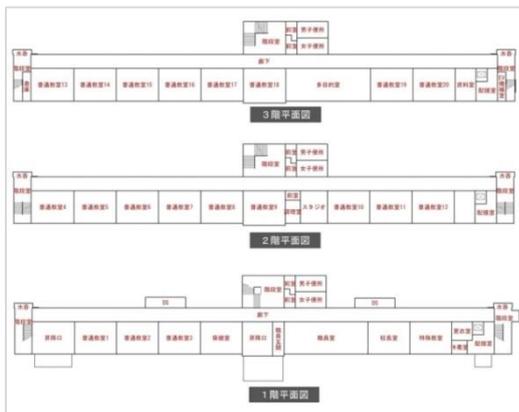
●このことから、旧門脇小学校校舎は震災伝承するための重要な施設です。

#### (2) 保存の考え方

●校舎は、一部又は部分保存することとし、震災遺構として整備を行います。

- ①隣接する（仮称）石巻南浜津波復興祈念公園と日和山との連続性を保った「震災伝承エリア」の主要施設として位置づけます。
- ②被害の状況や防災・減災を後世に伝える施設としての整備を図るとともに、その整備にあたっては、地域住民の感情に十分配慮します。
- ③保存の範囲、内部の利活用や周辺環境の整備について、地域住民との協議を続け、整備内容を決定します。

<校舎平面図>



<震災伝承エリア図>

